

## 今月のメッセージ（2013年5月）

日本銀行富山事務所  
佐子 裕厚

北陸新幹線の開業について考えていること

「北陸3県の面積を合わせても、新潟県1県の面積と同じくらいです」と当地の方が教えてくれました（北陸3県合計は12,622 km<sup>2</sup>ですが、新潟県は12,583 km<sup>2</sup>）。北陸3県といえば後立山連峰の急峻な山々から若狭湾までの地域。3県それぞれに特色があり、多様な自然と産業に恵まれた地域だけに意外でした。

2015年3月に予定されている北陸新幹線の開業を産業振興に結びつけるべく、当県では各方面で検討が進められています。

新幹線の開業によって都市圏との交流人口が増加することは確かなようです<sup>1</sup>、防災意識が高まっている昨今の状況では、新幹線の開業がバックアップ拠点を誘致する強力な後押しになるとも思います<sup>2</sup>。

もともと当県は、3大都市圏からそれぞれ鉄道で3時間程度という恵まれた位置にあることに加えて、交通基盤も揃っています。道路整備率も道路改良率も全国第1位（2011年）ですし、アクセスの良い国際空港（JR富山駅から空港までクルマで15分です）、国際便も就航する港湾設備なども整っています。新幹線の開業を産業振興に結び付けていくポテンシャルは十分あります。

ただ、首都圏の需要をしっかりと取り込み、新幹線開業の効果を一時的なブームに終わらせないためには、当県のみで産業振興を考えるのではなく、北陸3県や近隣県にも目を配っていくのが大事だと思います。

例えば、観光でも、当県の近くには、金沢、和倉温泉、永平寺、白川郷、飛騨高山、上高地などの有名観光地がたくさんあります（他県人の私は当県に住むまでこれらの観光地が当県から近いとは知りませんでした<sup>3</sup>）。当県とこれらの観光地を結ぶ観光ルートを整備すれば、観光のバリエーションも増え、何度も当県に来て下さるお客様を期待し易くなります。

新幹線開業により近隣県との時間的距離は一段と短くなります。近隣県との「連携」をキーワードに戦略を立てていくのが良いように思えます。

以 上

<sup>1</sup> 熊本商工会議所の田川専務理事が富山経済同友会の招聘を受けて当県で講演されましたが、新幹線開業により関西圏と熊本県の交流人口は5割以上も増加したそうです。

<sup>2</sup> 日本政策投資銀行富山事務所の試算（2013年3月）では、北陸新幹線開業による富山県への経済波及効果は88億円程度とのことでした。

<sup>3</sup> 例えば、高岡から白川郷までは高速道路を使ってクルマで1時間程度、富山から飛騨高山、上高地までは高速道路を使わずにそれぞれクルマで2時間程度です。